

へ"議会だより っかい

第96号

2021年2月

先人が拓いた大地と海を守り継ぐ

特集

町民から寄せられた 不安の声に瞬発力に対応 2

コロナ感染症対策物資などを調査 5

合葬墓の利用開始に向け条例案を審査 6

海や湖をめぐる自然界の異変に苦慮 7

議会基本条例の町民アンケート調査結果 8

一般質問(田村、横田、中村、大内、松原、今西、宮越、木嶋、外山、瀧川、松壽、小椋の12議員) ...10

定例会・臨時会のまとめ22

議会のうごき23

シリーズ 町民に聞きました 求められる新しい議会様式24



北海道別海町議会

町民から寄せられた 不安の声に瞬発力に対応

「核のゴミ」の報道対応にブレーキをかけるため「決議」を行い、秋さけの凶漁対策の財源確保に向けアクセルを踏むため、国などに「意見書」を提出しました。



議会は、行政との関係性を「車の両輪」に例えられることがあります。時には、監視・牽制機関としてブレーキをかけ、政策反映を目指しアクセルを踏む機能が求められます。議会基本条例調査特別委員会が昨年実施したアンケートは、1470件を超える回答が寄せられ、「核のゴミ」「秋さけの不漁」に関する意見などが多数寄せられました。

核の「ゴミ」に関する報道対応の 自制を求め全会一致で決議

「核のゴミ」の最終処分に関する文献調査の報道対応について、「検討する」と行政が回答したことや、その後の地元新聞の取材対応を巡り、2名の議員が一般質問をしました。

町長から「少数意見を聴く姿勢を重んじ、報道対応を見直す考えがない」との答弁が繰り返され、頑なな姿勢でありました。しかし、その対応は、解説や釈明がついて回るものであり、到底町内外の住民への理解は得られないため、12月定例会最終日で次のページのとおり決議に至りました。

迅速かつ継続的な対応が必要な 秋さけ不漁対策に財源を

秋さけの近年の記録的な不漁に対して2名の議員が一般質問を行うとともに、定例会最終日に、国への財源確保を求める意見書を全会一致で可決し、国・北海道へ提出しました。（4ページを参照）

町長からも、国などへの要請活動に意欲が示されました。議会としては、行政が漁協と協議して、速やかに国に提案する凶漁対策の原案をまとめ、地域を挙げての要請活動がなされるよう注視します。

報道機関への対応について慎重な判断と

緊密な協議を求める決議（全文）

町政施行50年を控える本町は、開拓から今口に至るまで、

先人が想像を絶する困難を乗り越え、日本を代表する一大食糧生産基地を形成するとともに、日本最大の演習場を抱え、日本の国防を支えている。

その長い歴史において、町政及び町民生活の重要事案は、議会と行政の間で数多の丁寧な協議があった。

しかしながら、特定放射性廃棄物最終処分^{（あまた）}の文獻調査に係る町行政の報道機関への対応は、我々議会人にとって青天の霹靂^{（へきれき）}であり、多くの町民への釈明に迫られる事態となった。

その対応を通じて、「子育ての応援」「老後の安心」「産業の振興」を公約に掲げる町長に対して、この町で「安心して子育てできるのだろうか」「安心して老後を暮らせるのだろうか」「安心、安全な食糧

を生産していると自信をもって発信できるのだろうか」と

町民への不信が広がり、本定例会前から報道機関への対応を見直すよう各議員は忠言してきた。

これまで、職員が工夫を凝らして公約の実現に向けて政策を立案し、限られた財源の中で予算を編成し、我々議会は、そうした職員の努力を認め予算編成に賛同してきた。

その結果、光ファイバ整備事業など、町長は、そのトップセールスによって、町民生活や産業の振興に寄与する優れた政策を実現しようとしている。

我々議会も、政策議会を目指して、議会基本条例を制定し、3つの公約及び総合計画の達成に向けて建設的な政策議論をしようと努力している。しかし、そうした議会と行

政の努力は、一度の報道機関への対応によって大きな不信につながり、テレビ、新聞の報道で広がった不信を払拭するのは容易ではない。

特定放射性廃棄物の最終処分の国内的な議論が高まっている渦中、絶対的必要性に迫られていない中で、ただし書きを添えながらも、あえて「検討する」と報道機関に「宣言」

する必要はなく、また、文獻調査は、地層の著しい変動などを調査するものであり、南海トラフ巨大地震と並ぶ千島海溝周辺海溝型地震の対策に迫られている本町として、調査の検討を示唆する発言を選択する必要もなく、このことは、安心、安全な食糧生産地帯で汗を流す本町の生産者、近隣自治体の生産者に対して

風評被害を生む行為とも受け止められる。

町長の持論である町民の「意見を聴く民主主義観を否定するものではないが、政策課題を克服するだけでなく町民から信頼される行政であるためには、議会や町民の「提言」、そして職員の「進言」に真摯に耳を傾ける必要がある、職員各位も、我々議会人が警鐘を鳴らす必要がないように、報道対応に当たっては、町長を支える一心で自制を求めるべきである。

今定例会中は、議会人の心情が伝わらない大変残念な結果に終わったが、町民から選ばれた町長と議員が町民に信頼され、その善政や政策論議によって町民福祉が向上されるよう強く願うものであり、監視・牽制機関である議会の総意として、今後の報道機関への対応について慎重な判断と緊密な庁内協議を求めるものである。

以上、決議する。

「さけ定置漁業」の凶漁対策に係る 資源増殖事業の緊急支援を求める意見書（全文）

本町の主力漁業である「さけ定置漁業」は、不漁が続く、漁業経営は厳しさを増し、自主規制の実施などの漁家、漁協の自己努力のほか、行政及び関係機関の連携により資源回復に向けて取り組んできたところである。

このような中、本年は、5年連続の不漁、過去にない凶漁に見舞われ、本町の水産業及び水産加工業において甚大な打撃となった。太宗漁業である「さけ定置漁業」の低迷は、税収の低下による本町の財政逼迫の要因となり、また、水産業を取り巻く関連産業の事業縮小、経営悪化にもつながり、本町経済全体の不振に及んでいる。

当地における「さけ定置漁業」は、ふ化放流事業の実施により維持されているが、同事業は、さけ定置漁業者が水

揚から負担する増殖負担金により賄われており、本年の凶漁は、増殖負担金が捻出できない事態となっており、今後のふ化放流事業の継続が困難となっている。

また、近年の不漁に伴うふ化放流事業の財源不足は、老朽施設の維持補修、飼育能力の向上に向けた施設構造改良、飼育密度の改善に向けた機能強化などに取り組むことがで



基幹産業のひとつ「さけ漁」の危機

きず、「さけ定置漁業」の足下が定まらない状況に陥っている。加えて、水揚の低迷が原因となり、北海道で定める計画放流数を満たせない年もあり、そのことが来遊の回復に影響する悪循環を生じさせている。

本町は、水産業・酪農業が基幹産業であり、安心、安全な食糧を国民に供給する生産基地と自負しているが、近年の漁家経営の不振は、子供たちに経営移譲する上で大きな不安を伴う状況となっている。

よって、国においては、「さけ定置漁業」の凶漁対策に係る資源増殖事業として、左記の事項について特段の措置を講ずるよう強く要望するものである。

記

1 近年のさけ来遊数の激減による増殖事業の支障を解決するため、国営または国

費の支援により、捕獲採卵事業、ふ化放流事業及びふ化場の設備投資等に係る全面的な支援を行うこと。

2 当地における親魚の河川捕獲数の増加による採卵事業の強化、さけ来遊数の回復に向けて、一定期間の自主規制期間を設定可能とするモデル的交付金事業を創設、一定期間継続し、自主規制機関の漁家経営及び関連産業の経営を補償する所要額を確保すること。

以上、地方自治法第99条の規定により提出する。

【意見書提出先】

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

農林水産大臣

経済産業大臣

内閣府特命担当大臣

（沖縄及び北方対策）

北海道知事

総務文教常任委員会の活動報告

担当所管 総務部・教育委員会など 委員長 松壽 孝雄 副委員長 外山 浩司 委員 戸田 憲悦・中村 忠士・田村 秀男

コロナ感染症 対策物資などを調査

小・中学校のオンライン授業化に向けて整備が進んでいます。

感染症対策物資の充足・ 整備の加速

収束の見えない新型コロナウイルス感染症により、日常生活をはじめ地域経済への打撃や行事の中止などに大きな影響が出ています。

国や道からの財政支援策により、町が計画中の事業が早まり、感染症対策物資が充足されています。

小学校・中学校には、タブレット端末を児童・生徒用に1400台、指導者用200台が配備され、校内のWiFi環境も整備されています。

また、災害用備蓄資材として段ボールベッド230台や備蓄コンテナ10台、役場庁舎玄関前に体温を測定するサー

マルカメラが設置されるなど、コロナ感染症対策備品の整備が進んでいます。

活躍する地域おこし 協力隊員

総務省の支援制度である地域おこし協力隊事業により、当町にも商工観光課と総合政策課に1名ずつ隊員が配属され、活動は2年目を迎えています。

2人は、交流館ぶらとで木・金曜日にサテライトオフィスを開設し、地域の人たちとの交流を深めながら仕事を進めています。

高橋隊員は、旧国鉄標津線の上春別駅を観光スポットにしようとして1人で草刈をはじめ、観

光シーズンに鉄道ファンが訪れる場所になっています。

原田隊員は、移住希望者向けのパンフレットなどを作成し、町の魅力を発信中です。

当町には、過去3名の協力隊員が着任しました。1名は、任期の3年間を終了し、そのまま別海町に移住しています。

しかし、2名は任期途中で当町を離れています。当町が地域おこし協力隊員に期待している活動と隊員の目指す内容の一致が望ましいことです。

隊員の斬新な視点で地域に大きな刺激を与えられるよう委員会として調査していきます。

通学バス助成事業の 事務手続きについて

当委員会では、別海高校の通学バス助成金の現物支給化を求めています。

委員会の求めとは別に、今年度から住民税非課税世帯などに対する概算払い制度が新設されました。

今回、11月に高校の事務の担当者との意見交換を実施しています。助成金の申請書のチェックに加え、利用者(164名)の口座や乗降所を確認し、学校長印を押して教育委員会へ提出する事務に時間を要することが、特に課題となっています。

教育委員会と一部重複している事務もあり、見直しをして欲しいなどの意見を聞いています。

新ひだか町では、すでに現物支給が実施されており、保護者の負担が軽減されています。当町でも実現に向け、引き続き調査を行います。



別海高校事務担当者と意見交換会

福祉医療常任委員会の活動報告

担当所管 福祉部・別海病院など 委員長 木嶋 悦寛 副委員長 小椋 哲也 委員 佐藤 初雄・松原 政勝・横田 保江



お墓に対する考え多様化が進み必要性が高まった合葬墓

合葬墓の利用開始に向け 条例案を審査

来年度から利用が開始される合葬墓の建立、新型コロナウイルス感染症への対応が続く別海病院の状況などを調査しました。

道内各地で合葬墓が建立され、お墓を管理できなくなつた方、お墓を建てない選択をされた方にとって、新たな祖先の弔いの形として浸透してきています。

この度、べつかい霊園の一角に建立された別海町合葬墓

は1800体の焼骨を埋蔵できる規模で、駐車場から一体となった舗装路も整備され、車いすの方も容易にお参りが可能となっています。

現地調査において委員からは、お骨の投入口の高さや周囲のバリアフリー化など、遺族への一定の配慮がされており、良いものが出来上がったと評価する意見がありました。今後は、来年度からの利用開始に向け、使用料や手続きの方法などに関し、広報される予定です。

各種計画の策定進む

- 別海町第6期障がい福祉計画
- 第2期障がい児福祉計画
- 別海町高齢者保健福祉計画

及び第8期介護保険事業計画
これらは来年度更新予定の計画です。

計画対象者へのアンケート調査が終わり、策定が進められており、今後も調査を継続することとしています。

新型コロナウイルス 感染症の影響続く

町立別海病院の経営状況を調査（令和2年10月末）しました。

昨年同期に比べ、入院患者数は減ってはいませんが、外来患者数が大きく減少しています。

引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を注視していきます。

インフルエンザの 流行とワクチンの状況

すでにインフルエンザの流行期に入っていますが、調査段階では患者が一人も出て

ない状況です。

北海道スタイルが浸透し、結果として各種感染対策にもなっているとの見解です。

インフルエンザワクチンの接種については、一般成人分（高校生以上）については、すでに予定量に達して終了しています。

子どもの分については、調査段階ではまだ接種を継続中です。

発熱外来の状況について

令和2年12月から別海病院に設置され、調査時では一日当たり4件から14件程度の受診で風邪の患者がほとんどです。

新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合は、院内でPCR検査と同程度の精度の抗原定量検査を行います。

検査は、陽性者の濃厚接触者など厚労省が定める基準を満たした人を対象とする行政検査にのみ対応しています。

産業建設常任委員会の活動報告

担当所管 産業振興部・建設水道部など 委員長 今西 和雄 副委員長 大内 省吾 委員 瀧川 榮子・小林 敏之・宮越 正人

海や湖をめぐる自然界の 異変に苦慮

モクズガニ大量発生と駆除の状況など調査しました。

ここ2・3年で急激に増えたモクズガニは、風蓮湖も含め、別海・尾岱沼の両漁協管轄でも発生しています。

駆除作業の現場では、以前はヒトデの除去が主でしたが、ヒトデが姿を消し、因果関係は明確ではありませんが、代わりにモクズガニが一気に増えていきます。

漁網や稚魚・稚貝の成長に欠かせないアマ藻などに被害を及ぼすモクズガニの駆除作業は、春と秋の年2回行われています。

モクズガニの駆除量は、以前は年間8ト程度でしたが、近年は100トを超す量となっており、駆除作業が漁家の大きな負担となっています。駆除にかかる経費は、漁協

や町に加え、北方領土隣接地域振興等補助金によって賄われています。

モクズガニは処理に時間と経費が大きくかかってしまうことから、食用としての流通は難しく、現在は肥料の原料として利用されており、さらなる活用が模索されています。



駆除された多量のモクズガニ

この数年のさけ漁の不振、突如として姿を消したヒトデ、大量発生したモクズガニなど、海洋をめぐる自然界の異変は、わが町における漁業の振興にとって大きな課題であると認識しました。

森林環境譲与税の活用

森林には用途により「経済林」「環境林」があり、当町は民有林を守り、環境を守る観点から、環境林の整備に森林環境譲与税を活用していくとの報告がありました。

事業の推進などは、森林組合と連携を取りながら進めていきます。

橋梁長寿命化、町道の舗装・補修状況

橋梁長寿命化と町道の舗装・補修は、計画に基づき行われています。

現地視察した橋梁は、昭和51年に架設、早期措置段階となる

損傷ランク3の判定でした。また、本年度の計画について説明がありました。

舗装化実績（北鳴地区他）

9路線 4646m

舗装補修実績（上春別地区）

1路線 525m

厳しい財政状況下、国・道などの補助事業の活用を模索し計画を進めていくと報告がありました。

予算確保が今後の大きな課題です。

除雪体制の現状

今シーズンも除雪体制を整え、高齢者世帯などに対しては、福祉課と連携を取り、進めて行くと報告がありました。

除雪車両として、町有車・除雪グレーダー4台、除雪ドーザー3台を含め12台。民有車・除雪ドーザー56台・除雪ロータリ5台を含め70台の計82台で除雪を行ないます。

当委員会は適切な除雪の実施について調査していきます。

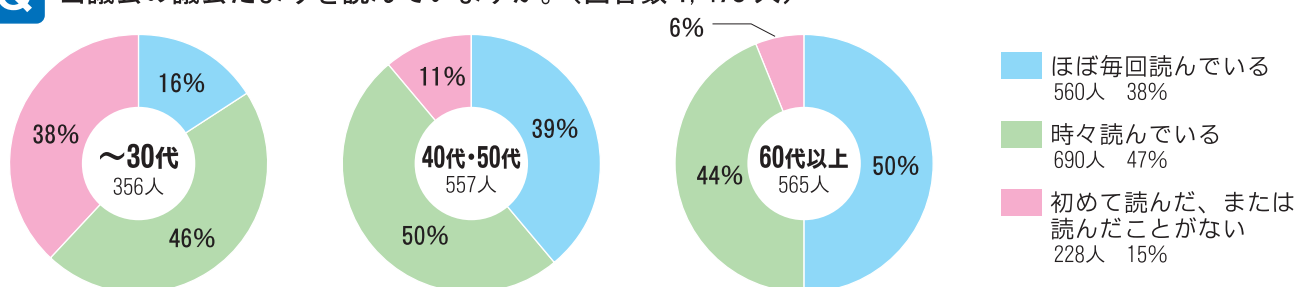
議会基本条例についての町民アンケート調査結果

アンケートの協力に深く感謝

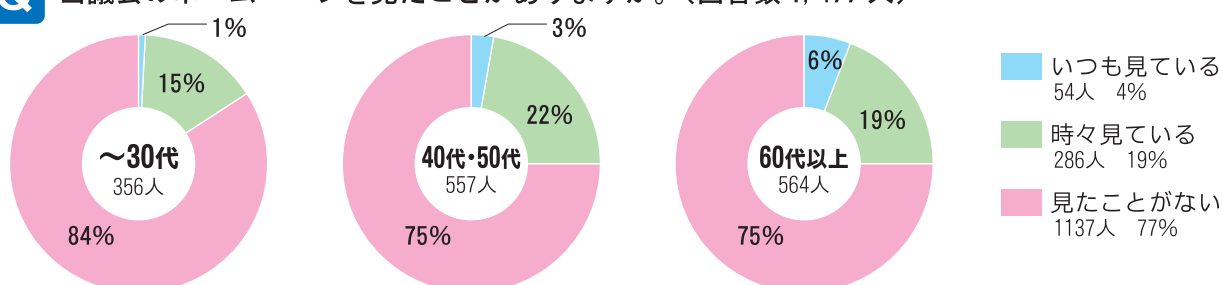
議会基本条例調査特別委員会では、今後制定する条例に町民の声を反映させるべく、アンケートを実施しました。これまで1470人を超える方から回答をいただきました。

いただいたご意見は、今後各委員会の調査などに活用いたしますが、まずは、アンケートの集計結果を添えて、皆さまのご協力に対する感謝をお伝えいたします。ありがとうございました。

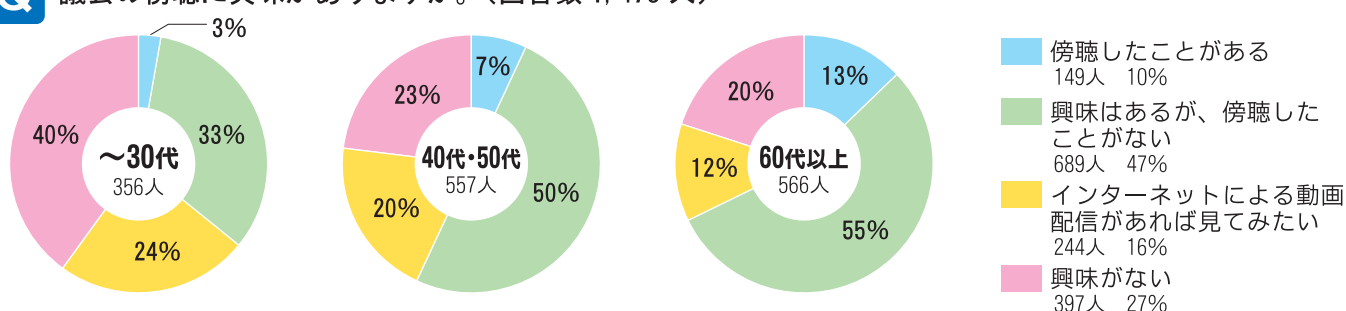
Q 当議会の議会だよりを読んでいきますか。(回答数 1,478 人)



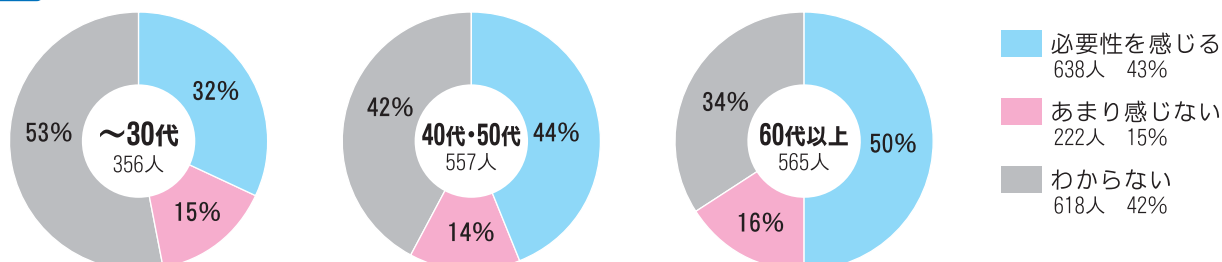
Q 当議会のホームページを見たことがありますか。(回答数 1,477 人)



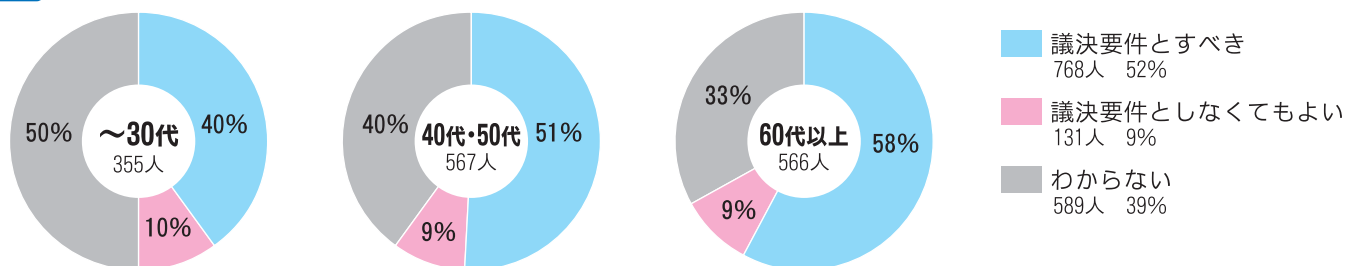
Q 議会の傍聴に興味がありますか。(回答数 1,479 人)



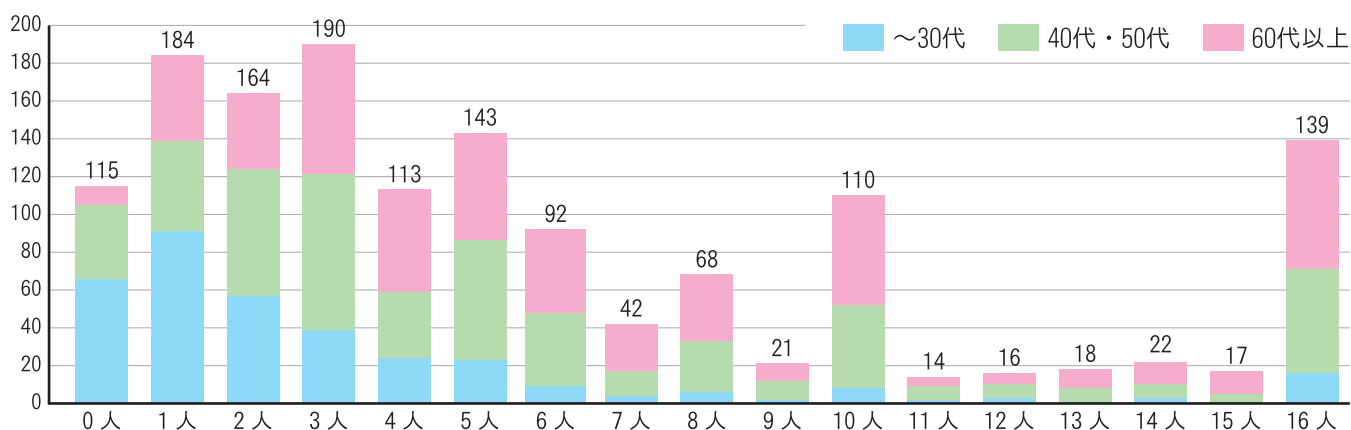
Q 別海町議会基本条例の必要性について。(回答数 1,478 人)



Q 町の総合計画を議決要件とすることについて。(回答数 1,488 人)



Q 現別海町議会議員 16 人のうち何人の名前と顔が一致しますか。(回答数 1,468)



情報発信に課題、ネット中継を求める声も

アンケートの集計結果について特別委員会でも考察しました。議会だよりの読者を増やすため、さらに編集の工夫を凝らす必要があると認識しました。また、議会のネット中継を求める声が多く、議会運営の参考となりました。

議会基本条例の意義が理解されるよう努力

議会基本条例の必要性については、いずれの世代も「必要性がわからない」方が多い結果となりました。今後、時間をかけて条例の意義の説明に努めます。

総合計画の議決要件化は住民自治の基本的手続き

総合計画の議決要件化については、議決要件化を求める意見が大勢でした。

住民がまちづくりの主役であるために必要な基本的手続きです。議会基本条例中に議決要件を規定するため、今後も調査を進めます。

議会運営・議員活動を町民の身近なものに

議員の顔と名前が一致するよう、まちを歩き町民の皆さんに寄り添う一丁目一番地の議員活動に汗をかき、「議員の顔の見える」活動を積極的に努力が必要であると分析しています。

核の「ゴミ・不漁対策」など多数の意見をすぐに町政へ

自由意見では、核のゴミ発言、不漁対策に関する意見が多数寄せられたこともあり、2ページから4ページに記載のとおり、12月定例会ですぐに対応しました。感染症対策についても、国に意見書を提出しました。

今後も、建設的な提案にはすぐに取り組み、批判や指摘に関しては真摯に受け止め、町民の負託に応える議会運営、議員活動を進めてまいります。いただいた自由意見については、回答を添えて改めて報告します。



議員12人による一般質問

質問 「健康ポイント制度」を提言するが、町長の見解は



田村秀男議員

質問 肉体的に健康を保つためには、疾病の予防や早期発見のための健診が重要だが、

当町の現状は。

答弁 特定健診の受診率は、

36%から38%台で推移し、道内・根室管内と比較しても高い状況となっているが、メタボは改善されておらず目標値60%に向けてさらに努力する。

質問 インセンティブ（交付金）が付与される国民健康保険の保険者努力支援制度の有効活用は。

答弁 当町の評価指標の配点

回答の要約

幅広い分野の健康増進活動をポイントの対象にするため、横断的な庁内協議を行って、来年からの実施を約束する。

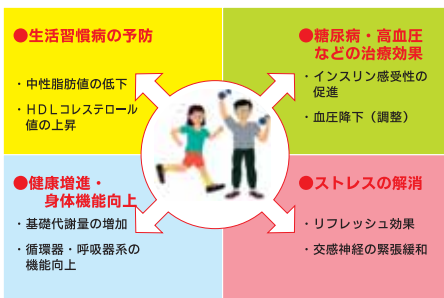
は、99.5点満点中48.4点で、交付金は1026万9千円を予算計上しているが、新たな試みも必要であることから、そのための準備・検討を進める。

質問 精神的に健康を保つためには、質の高い睡眠、ストレスと上手に付きあうこと、ウォーキングなどの有酸素運動が効果的だが、コロナ禍でこれらの健康教育の推進は。

答弁 家庭訪問や保健セン

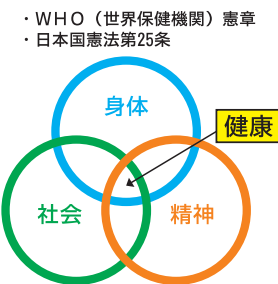
ターなどでの健康相談のほか、健診結果説明会を活用し指導している。

運動の効果



資料提供：日本成人病予防協会

健康の定義



答弁 各種施策と連携した保健事業の推進を図っていく。

質問 社会的に健康を保つためには、社会性や人間性も良好でなくては、健康という状態ではないと考える。

スポーツや文化施設の利用、社会教育事業への参加を促す施策と連携して保健計画を推進することが必要不可欠と思うが。

質問 町民は、町の大切な財産であり、それを守るのは行政の最優先事項では。

答弁 町民があつてこそその町であり、私もそういう心がけで、今後とも町づくりに取り組んでいきたい。

質問 「歩いてポイント」「学んでポイント」「疾病予防でポイント」。

町民が貯めたポイントを商品券と交換して商店活性化に寄与する、一石三鳥の「健康ポイント制度」を提言するが、見解は。

答弁 寿大学や健康体操教室への参加、子育て世代を対象にした教室、ボランティア活動、健診受診者など幅広い分野でのポイント付与を庁内関係部署が横断的な協議を進めており、来年からしっかり取り組んでいくことを約束する。



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

質問 高校生への給食提供で子育て支援を



横田保江議員

質問 84%の保護者が、給食の提供を求めているアンケート結果をどう考えているか。

答弁 回答率が20%と低かったので、アンケートを再度行う。

質問 給食センターの提供能力を最大限に活かし、給食提供を1年でも早く実現を。

答弁 児童・生徒の減少により令和7年度には高校の給食提供が可能となる施設の能力はあるが、建設費の補助に関わる防衛局の許可、高校の受入体制、給食センターの人員確保などの課題がある。

回答の要約

他市町村の実践事例、先進地視察などを含めた計画的な調査・研究が重要になると考えている。

給食センターのアレルギー対応食の提供状況は

質問 現在、アレルギー対応食を提供できていない。原因と今後の見通しは。

答弁 令和2年6月から提供予定だったが、機器の操作手順の習得に苦慮し、現在の人員では調理が困難。令和3年5月から再開したい。

質問 保護者への通知の詳細と欠食分の給食費は。

答弁 令和3年度から学校給食の食物アレルギー対応に

ついて、令和2年11月5日付で保護者に通知している。給食メニューの一部の欠食時は、通常給食費を徴収している。

ふるさと交流館の直営によるサービスの影響について

質問 現在のサービスの課題をどうするのか。

施設周辺に放置された不要備品を撤去する予定は。

答弁 ふるさと交流館の指定管理期間満了後、機械設備などの改修を行い、入浴のサービス充実に努める。

施設周辺に放置された不要備品などは撤去を検討する。

質問 入浴部門の指定管理経費と直営後の経費は。

運営方法の変更による財政面の具体的な違いは。

答弁 現在の管理経費は、入浴・宿泊・食事の部門ごとに人件費、光熱水費、燃料費

の積算はしていないため直営方式と比較できない。直営管理経費は、予算要求に向け積算中である。

質問 各部屋と飲食サービスについて、その後の進展と活用法は。

答弁 入浴サービスのみ提供し、後に休憩室、大小研修室は開放する予定。食事は民間活用などを含め検討し、宿泊は当分休止する。



町民の憩いの場であるふるさと交流館

質問を終えて

前よりも少し緊張がほぐれたかも?? でも緊張する



議員12人による一般質問

質問 教育職員の時間外勤務が月45時間を超えると？



中村忠士議員

質問 教職員の変形労働時間制をとると、最大で、12日間連続勤務、朝の8時から夜の7時まで11時間学校に拘束させられる事態が生じる。

町教委は制度をいつから導入すると道教委の調査に答えたのか。その根拠は何か。

答弁 「令和3年からの導入を検討したい」と回答した。

学校への調査で、「令和3年度から活用したい」が小3・中2の計5校。「令和4年度以降検討する」が小5・中2の計7校。「活用できない」が中2校。「その他」が中2校という結果から回答した。

回答の要約

変形労働時間制の導入・適用はできない。

質問 「令和3年度からの導入が難しい」、また、「導入しない」が7割だ。「令和3年度から導入」という根拠が見えてこない。

各学校で先生方に説明、周知、討議は行われているか。



職員室の授業準備風景

答弁 パンフレットによる周知のほか、校長会、教頭会で勉強会が行われている。

勉強会前に教職員に内容を

伝えたのが小2・中2、後に伝えたのが小2・中2、今年度中に伝える予定という学校が小4・中4と認識している。

質問 周知されているとは言えない。にもかかわらず「令和3年度からの導入」と言うのは非常に乱暴だ。

時間外勤務が月45時間以内ということが制度導入の前提だ。45時間以内であることが証明されない場合は、制度を導入・適用できないと考えるが、どうか。

答弁 そう認識している。

障がい者虐待防止について町の計画はあるか

質問 町内の障害者支援施設の従業者による虐待が平成20年4月、24年2月、25年2

月に起こっていることについて町長は認識しているか。

答弁 認識している。

質問 さらに、28年5月、今年6月にも虐待があった。この12年余りの間に5回の虐待が同じ施設の従業者によって引き起こされている事態は極めて重大だ。

通報を受けた後、町のどの部署がどのように動くか、議会や報道機関に、誰がどのように対応するかなどの対応マニュアルはできているか。

答弁 道のマニュアルにより対応していくことになる。

質問 町のマニュアルはできていないと受け取った。障害者虐待防止法には地方公共団体の責務が明記されている。それについて、町は実施計画を持っているか。

答弁 計画は立てていない。



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

問 依然として無くならない 「柏の実会」の暴力による虐待行為



大内省吾議員

回答の要約

今後再発防止対策を徹底し、
町もしっかり関わる。

質問 障害者支援施設「柏の実学園」が業務を受けている町の作業現場で、職員が通所者の頭をなぐるといふ、あつてはならない虐待行為を行なったが、町の認識は。

答弁 暴力は、その大・小に関わらず、決して許されないと考える。

また、障がいを持つ方の就労支援には、力に頼らず、意思疎通を図るための方法が大切であり、支援に関わる全ての方々に徹底していただきたい。

質問 大変恥すべきことであるが、「柏の実学園」が、こ

れまで3回も虐待行為や暴力の勧告を受けた事実を運営責任者は真摯に重く受け止める必要がある。

町長は、柏の実会理事長からどのような報告を受けているのか。

答弁 法人理事長からは、このたびの事案の概要説明と謝罪があり、「利用者の心のケアにしっかりと取り組み、こうした事態を二度と繰り返さないという強い気持ちを持って職員一同再出発を図りたい」との説明があった。

また、私からも理事長に何度と同じような事案を起こす

ということは大変重大な問題であり、施設全体で協議をして、今後起きない対策をとっていただくよう伝えた。

質問 組織のトップの立場である理事長や施設長は、よもや部下に責任だけを押し付けることがないよう、責任感や緊張感を持って指導に当たることが大事である。

また、理事長は、町民や保護者に対しての管理責任や説明責任という点では、どのような考えであったか。

答弁 度重なる事案については、理事長も「大変遺憾であり、今後しっかりと組織を固めていきたい」との発言であった。

質問 このような暴力による虐待行為が続くと、道から「業務停止命令」や「認可取消」の事態を招くのではと危惧している。

改善のために町としてなお

一層の提案を運営者に進言することも必要ではないか。

答弁 町としても、障がい者とその家族が安心して利用できる施設であり続けられるよう、また、今までの事案に対する町民の不安な思いを払拭していく努力も必要と考える。

さらに、職員の資質向上のため、研修・業務改善の検討や閉鎖感のない職場環境づくりの助言など、町としてしっかりと支援をして行きたい。



リサイクルの現場で柏の実学園は長年貢献している

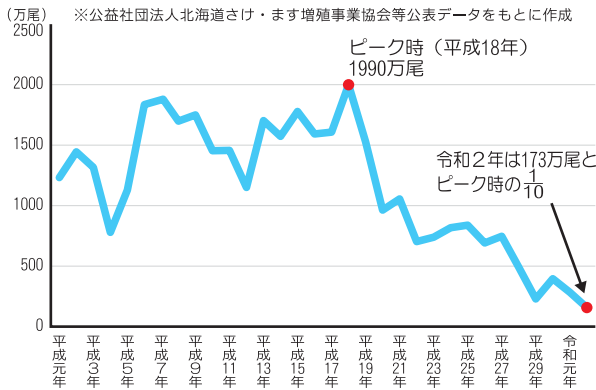
「町」「柏の実会」いずれの虐待防止対応も未だ疑問と不安が残る？

質問を
終えて



議員12人による一般質問

■秋さけの来遊数の推移（根室管内沿岸）



不漁、特に本年は凶漁であり、感染症の影響とのダブルパンチとなり、海岸地区は重苦しい空気だ。財政支援の考えは。



松原政勝議員

質問 秋さけ水揚げの不漁に対する財政支援が必要

質問 5年連続で秋さけが

回答の要約

どのような形で支援することが、浜の危機を救い、今後の生産に結びついていくのか検討を進めている。

答弁 来遊資源の低迷、河川遡上の不振に直面し、海洋環境の変化など、さまざまな課題を抱えており、増殖事業運営が危ぶまれている。管内自治体や漁協とも協議しながら支援を検討していく。

できるだけ早い機会に補正予算を組み、議会に提案したい。

演習場の騒音対策の充実について

質問 長年にわたる騒音振動などで、日常生活、酪農経営に不安が生じている。

町は、防衛省に対し、民生安定事業の補助対象区域の住

民の状況を具体的に伝えていくべき。2期・3期の防音対策が必要ではないか。

答弁 先に、町単独要望により、町内全域への区域拡大の要請を行っている。

今後も現状把握に努めるとともに、関係機関に対し要請を行っていく。

別海町には核のゴミの議論は必要ない

質問 各報道機関の取材に

対して、町長は、「国からの文献調査の申し入れがあった場合、検討する」と回答した。町長の報道への対応について批判の声が寄せられているが。

答弁 「将来的に国から文献調査の申し入れがあった場合」の「検討する」と回答した真意は、何も議論しないで否定することは民主主義に反している。まず、議論や意見を聴くことが重要である。

質問 別海町は、長い歴史を経て1次産業で町が成り立っている。「候補地は一切ない」「将来にわたっても検討の考えはない」と毅然と報道対応すべきだ。

答弁 町にとって良いことが悪いことか議論することが大事で、国から要請があれば検討する考えに変わりはない。

質問 次世代の子どもたちに核のゴミの議論を残せない。再考を求める。

答弁 再考する考えはない。

質問 頑なに考えを変えないのであれば、多くの町民の意見を求めることになる。

答弁 これからも少数意見も聴きながら、国から要請があれば、検討・議論していく。



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

質問 文献調査の議論に乗ること自体「言語道断」「問答無用」



今西和雄議員

質問

核燃料廃棄物最終処分場の文献調査に関する各報道機関への対応について、庁舎内での協議経過は。

答弁

「現時点では文献調査に応募する考えはない」と回答しているが、応募するかしないかの検討の議論は必要である。

また、「将来的に文献調査への応募を検討、議論する可能性はある」と回答している。

質問

各報道機関対応については、庁舎内でいろいろ議論した結果だと認識したが。

回答の要約

検討の申し入れがあれば、議論もなしに断る考えはない。

答弁

基本的には、報道機関への対応はもちろんであるが、どのような場面においても協議の上、対応している。

質問

この報道がなされてからの状況について、庁舎内で議論されたか。

町長・副町長の考えは。

答弁

大方の幹部職員は、慎重に対応すべきとの意見であった。

しかし、町長としていろいろな場合を想定しての報道機関への対応だ。

検討の申し入れがあったときに、検討することなく、さ

らには少数意見も聴かずに退けることは、民主主義に反する。

一般的な案件であっても、重要な問題についても、町長・副町長・幹部職員で対応を協議。議論を尽くし、最終的には町長が判断する。

今回のアンケートに対し、慎重に対応すべきとの意見も出されたが、報道された結果となった。

今回のアンケートに対し、慎重に対応すべきとの意見も出されたが、報道された結果となった。

質問

多くの町民も、議員も、町長の判断に対し疑念を抱いている。

今日まで積み上げてきた当町の形成や歴史的背景を考えると、核燃料廃棄物最終処分場に係る文献調査の議論に乗ること自体「言語道断」「問答無用」。

将来に向け、一大食糧基地としての役割を担って行くのが、わが大別海町の責務である。

町長の考えは。

答弁

言われるまでもなく我が町の歩んできた歴史、食糧生産を担っていることなど、充分考慮して町政運営に当たっている。

しかし、先にも答弁したが、今回の件について検討の申し入れがある時は、拒む考えはないし、しっかりと議論し、少数意見の声も受け止めて対応する考えに変わりはない。



次代へ守り続ける食糧生産基地 悠揚たる大草原

議会総意の決議に繋がり、大きな責任と受け止めている。



議員12人による一般質問

質問

秋さけの不漁対策について



宮越正人議員

質問

地域経済に大きな影響を与える秋さけ漁の不漁対策として、産業建設常任委員会の総意により、増養殖事業の管内的あるいは国や道の事業化など、町長のリーダーシップで支援策を構築できないか。

答弁

町内両漁協で71億円あった水揚げが、今年は8億6千万円と激減している。町でも後継者対策や人口減を含め、大きな問題と考えている。

さけ・ますのふ化事業は停めることはできない。短期的あるいは長期的施策が必要と考えるが、早急に管内首長と協議し、増養殖の支援策を含

回答の要約

地域的な大問題と考えている。まずは、増養殖事業の安定的な実施施策を推進したい。

め協議する。

また、管内8単協の総意として、国や道に要請できるよう意見をまとめ、行政や水産・



各河川のふ化場に遡上するさけも激減している

商工業を含む地域全体の要望として、この秋さけの不漁対策を推進したい。

漁業者の皆さんには、もう少し苦労をお掛けするかも知れないが、できるかぎり早期に中央官庁、そして国会へと、しっかりした要請活動をしていけるよう北海道知事とも連携を取り、首長としてのリーダーシップを発揮したい。

※議会では、「さけ定置漁業の凶漁対策に係る資源増殖事業の緊急支援を求める意見書」を、内閣総理大臣をはじめ、各関係大臣に提出します。意見書は4ページに掲載。

別海高校を支援する公設民営塾の設置について

質問

当町と同じく、地元の高校を守ろうとする施策で、近隣の弟子屈町・足寄町・津別町などでは高校生の受講料を無料とする「公設民営塾」を設置しているが、教育委員会は中・高の保護者の実に65%

が「進学講習の充実」を求めている中、どのような所見か。

答弁

近隣の「公設民営塾の」実態は把握している。当町では4千700万円の予算を確保し、9つの事業で別海高校を支援している。

また、中・高保護者のアンケートにより、進学講習に対する関心の高さも確認している。

別海高校では現在、教職員一丸となり、高校独自で進学講習の充実を図っている。その推移を見守り、今後の検討課題としている。



学習拠点を含めた新たな活用が期待されるマルチメディア館



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

質問 新型感染症対策、道や国への移動自粛要請の考えはあるか



木嶋悦寛議員

回答の要約

国や道に対して、移動自粛に関する町独自の要請を行う考えは、現在のところない。

質問 ウィズコロナで感染対策と経済活動の両立を図る上で、往來のリスクをどう見積もっているか。

答弁 年末年始の帰省でどれぐらい人が動くのか、経済活動との具体的な因果関係に基づき算出しているものはない。

質問 各地で帰省自粛する学生らに食料品など生活物資を無償で提供し、別海町の愛を届ける考えはないか。

答弁 心情的には大いに理解できるし、エールを送るといった気持ちは当然持っている。

町の新型感染症対策の中で優先順位があるが、先々の中で検討していく考えだ。

質問 PCR検査の拡大運用を行う必要性があると考え、出張前後の健康管理を行い、安心して職場や家庭に戻れるようにするためだ。

町長は、感染拡大地域への出張を不安に思わないのか。

答弁 町立別海病院に今月から発熱外来を開設し、症状に応じて抗原検査などの行政検査を行っており、適切に相談・診療・検査を行っていくことを最重要課題としている。

また、町長としては出張に對し不安は持っている。うちの町で最初に感染するのは町長だとよく言われている。健康観察は欠かさず行っているが、職員に感染して役場機能が麻痺しないように、極力、慎重に対応していきたい。

質問 入所型の介護施設や障害者施設でクラスターが発生した際に、町としての連携の考え方や病院の対応は。

また介護スタッフが濃厚接触者となることから、自宅以外に待機宿泊しながら業務に当たるケースについてどう考えるか。

答弁 基本的には北海道が指導・調整を行い、町としては道と連携し、町民の生命を守り、町民生活を維持する業務の対応に当る。

濃厚接触者となった介護スタッフは、自宅待機が原則になるが、事情により叶わない場合の対応として、一時的に

職員住宅など町有財産の使用を検討している。

矢臼別演習場周辺まちづくり構想について

質問 3館連携について、3館それぞれの役割は。

答弁 「生涯学習センター」は、3館のハブ機能と公民館機能、「マルチメディア館」は新たな施設用途と、ふさわしい名称を検討する。また、「交流館ぷらと」は、観光案内拠点としての機能強化を想定する。具体的なものは今年度中に検討し、来年度から準備にかかる。



新たな活用が計画される既存施設

質問を終えて

わが町の困りごとを裏付ける経済データ収集に課題あり。ウィズコロナのためには経済分析が急務。



議員12人による一般質問

質問

合葬墓の運用方法は



外山浩司議員

質問 申請から納骨までの流れについては。

答弁 許可申請書の提出、審査、使用料の納付、日程調



4月から利用が開始になる別海霊園内の合葬墓

回答の要約

本年4月からの使用開始に向け、墓地の設置および管理に関する条例を制定する。

整、納骨を想定している。

使用料は、1体につき町内の人は1万円となる。

質問 既存の墓からの改葬については。

答弁 改葬は可能である。所有していた霊園などの土地の返還が必要となる。

質問 無宗教施設だが、線香や献花の取り扱いはどういうになっているか。

答弁 町が関らないことおよび他の人の迷惑にならないことを条件に行なってもよい。

スクールバスの柔軟な対応について

質問 酪農家が、将来を見据え、農協の位置する校区に通学させたいという考え方について、どう考えるか。

答弁 理解できる。

質問 学校区と同じように、スクールバスの乗車についても柔軟な対応ができないか。

答弁 保護者の考えで変更している場合、公平な状況で乗車するために現在の運用を継続していく。

質問 通学区の変更を希望した時点から数年が経過し、環境が大きく変化している場合がある。

規定の中に「特別な場合可能になる」とあるが、該当にならないか。

答弁 心情的な部分は理解

できる。どれをもって担保できるか。無秩序に保証はできない。総体的な観点から検討しなければならない。

地区プールの継続について

質問 別海温水プールでは、水泳少年団が感染対策して活動していた。地区プールでも開館できないか。

答弁 更衣室などの予防対策が不十分になることや、現在の監視人数では、消毒作業と監視を平行して行うのは、安全上難しいと考える。

質問 地域のプールは、地域の交流の場にもなっている。継続できないか。

答弁 監視人数を増やし、感染症対策や安全管理の技術的向上、監視体制が整うのであれば可能と考える。



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

質問 新型コロナウイルス感染症への今後の対策は



瀧川 榮子議員

回答の要約

施設入所の感染者は、原則入院。別海病院の発熱外来は、かかりつけ医の相談の第一歩。

質問 厚生労働省新型コロナウイルス

が、高齢者施設などへの重点的検査の徹底を都道府県に要請した。各施設などでは感染予防対策を講じていても不安はある。検査態勢を整え実施に踏み切る必要があると考える。判断基準を記す要請内容は施設などに周知されているか。

答弁 無症状の方を対象とする検査体制を整備する考えはない。入所者や職員に発熱

など症状がある場合、医療機関と相談し受診に繋げていく。また、厚生労働省の要請内容は、各施設に直接通知している。

質問 9月議会では施設で

感染者が出た場合、原則入院、状況により入所継続もあると答弁された。進展はあるか。

答弁 現在も変更はない。

北海道の指示により町が協力機関として動くことになる。

質問 別海病院で発熱外来

を開設する。かかりつけ医に相談と言うことの第一歩となるか。また、待機場所は。

答弁 そうなる。車で待機

できない方の対応として、プレハブの待合室を設置した。診療室は、母子センター分

室を利用する。



病院横の発熱外来待機場所

インフルエンザ予防接種への補助拡充を

質問 町はインフルエンザ

予防接種の補助を行なっているが、補助対象者以外の接種金額は高い。安心して接種できる金額が必要だ。

また、介護従事者は、ほとんど対象外の年齢だが、多数の高齢者と接するため接種は必須となっている。集団生活に身を置く福祉、医療、教育に関わる職員や高校生に対し補助が必要だと考える。

答弁 新たな財政負担が伴

うことから、今は考えていな

い。国の施策など注視しながら対応について検討する。

介護従事者不足への対策は

質問 介護従事者の不足は

全国的な傾向とされている。事業所の努力だけでは成り立たないところまで来ている。

答弁 町はさまざまな支援

を実施しているが、介護従事者不足の解消には至っていない。今後、外国人介護従事者受入環境の整備などを協議するため、介護サービス事業者による協議会の立ち上げの検討を進めることにしている。

質問 根室市の事業者によ

る協議会では、資格取得のための研修を根室市で開催するよう要望している。

1市4町で開催できないか。

答弁 他の自治体とも連携

を図り、検討はしていきたい。

別海町は介護関連の資格取得や就職後の支援が充実しています。



議員12人による一般質問

問 明治西春別工場の存続に向けて 質 の 具 体 的 行 動 を と っ て い る か



松壽孝雄議員

回答の要約

本社と協議しており、署名提出後の具体的な行動は、コロナ禍の影響もあり差し控えている。

質問

本年3月に署名を本
社に届ける予定であったが、
新型コロナウイルス感染症の
影響があり、直接届けること
が叶わず、工場長から本社の
届けていただいた。その後、
担当部署として西春別工場に
赴き、工場側の懸念に対する
協議、工場存続に係る熱心な
説得はされているか。

答弁

工場存続に向けた協
議は、直接本社と行っており、
町側の対応策も本社に伝えて
いる。工場の移転は、「会社が
正式に決定したものでない」
との回答を本社から得ている
ため、担当部署が西春別工場



明治乳業西春別工場

質問

西春別工場による経
済波及効果を把握しているか。

に赴き、別途協議、説得を行
うのは現時点では難しい。署
名提出後の具体的な行動は、
コロナ禍の影響もあり差し控
えている。

答弁

生産額や社員数など
は確認しているが、経済効果
は把握していない。

質問

署名提出後に、西春
別工場に情報交換のため訪れ
ていないのか。

答弁

担当部署としては、
地元工場との情報交換にはな
らないと考えている。

質問

署名提出から半年経っ
ているのに何もしていない。
同じ町内にある工場であるし、
少しでも顔を出すなんていう
ことは、民間企業だったらみ
んなやっていることだ。

答弁

コロナ禍ということ
で、なかなか出向いていくこ
とは難しいと考えている。

質問

幾ら言っても平行線だ。
日本製紙釧路工場の撤退に対し
て、釧路市長はじめ経済界が一丸
となって本州へ赴き、直接要請活
動をしている。今後の予定は。

答弁

コロナ禍の状況を踏
まえ、できるだけ早い時期に
関係機関および団体と連携し、
引き続き当町での建て替えを
強く要望するため、再度の要
請など必要な行動をとりたい。

成人式と年末年始に向けた PCR検査の助成を

質問

成人式中にソーシャ
ルディスタンスをとっても、
夜になると再会を喜んで、一
定の距離を保てなくなること
も考えられ、陽性者が発生し
た場合の飲食店のダメージを
十分考慮する必要がある。希
望者に検査キットを配布し、
万全の体制をとるべきだ。

答弁

直ちに助成制度を整
備し実施するという判断には
至らないが、行政検査以外の手
法は大きな役割を果たすこと
も想定できるため、今後に向け
て調査を進めたい。



詳細はこちらのQRコードから

議員12人による一般質問

質問

別海町財政の強靱化に向けた 取り組みは



小椋哲也議員

回答の要約

事業の取捨選択で、財政の効率化、基幹産業のスマート化により生産性向上、財政調整基金を今後10年で20億円に。

緒に考えていく。

質問 債務の状況は。

答弁 2001年度末の209億円をピークに、2014年度末には152億円と減少している。

しかし、近年は公共施設の老朽化対策などの投資により2019年度末には167億円とやや増加している。

今後は、国営かんがい排水事業の町負担分、光ファイバ整備事業などでの借り入れを予定している。

質問 収入である交付税の

状況は。

答弁 2013年度に約73億円あった国からの交付税は、段階的な削減を受け、昨年度で約61億円となっている。

コロナショックの影響もあり、次年度はさらなる減額になると予想しているが、2年後からは回復基調に転じると見込んでいる。

質問 ふるさと納税など自治体独自の取り組みは。

答弁 今年度からは5つのポータルサイトを利用し、11月末現在、前年度金額比218%となっている。

今後、別海町のPRとしてもさらに力を入れていく。

質問 町の貯蓄である財政調整基金について、現在の状況と今後の見通しは。

答弁 予算額と決算額の流動性を補い、災害など不測の事態に備える財源として重要

な財政調整基金は、今後10年をかけて20億円程度まで貯める予定である。

質問 財政全体の総括を。

答弁 何かをやるために何かをやめる判断も必要になってくる。既存事業の効率化と見直しに力を入れる。

基幹産業は光回線の整備を活かし、スマート化を推進し、より生産性の向上を図る。

単なる支出の削減は町全体の経済が委縮してしまう可能性がある。現状の中で経済をしっかりと回し、教育や福祉の充実に取り組んでいく。



ふるさと納税でさらに別海をPR

質問を
終えて

時間が！ 時間が足りない！ よくばりすぎた！

定例会・臨時会のまとめ

令和2年第4回定例会会議結果報告

町議会史上最多の 一般質問12人登壇

第4回定例会の概要

令和2年第4回定例会は、
12月14日に招集され、会期を
12月18日までの5日間と決定。

1日目 12月14日

町長からの行政報告、副町
長から提出案件の概要説明の
あと、担当部・課長から議案
の内容説明が行われました。

町長からの行政報告

- 除雪体制について
- 新型コロナウイルス感染症
の状況、発熱外来の設置お
よび医療・福祉施設従事者
ほかへの謝辞について
- 産業の動向について
- 野付中学校の日本善行賞表
彰について

議案などの内容説明

- 各会計補正予算5件
- 合葬墓設置及び管理に関す
る条例の制定について

- 条例の一部改正3件

- 工事負債契約の締結2件

- 公の施設に係る指定管理の
指定8件

- 辺地に係る公共的施設の総
合整備計画の変更1件

- 教育委員会委員の任命1件

- 専決処分の報告1件

議案に関する主な質疑

- 合葬墓設置及び管理に関す
る条例に係る規定の疑義に
ついて (田村議員)

- 畜牛育成牧場の管理に係る
協議について (今西議員)

2日目 12月15日

- 議員7人が一般質問に登壇
(10／16ページ参照)

3日目 12月16日

- 議員5人が一般質問に登壇
(17／21ページ参照)

- 本会議を休会后、予算決算
審査特別委員会を開催。令和
2年度各会計補正予算5件の

審査を行いました。

予算決算審査特別委員会に おける主な質疑

- 中学校に配備するタブレット
の保守、台数などについ
て (小椋委員、田村委員)

- 臨時特別給付金給付事業、
緊急風しん対策事業および
森林経営管理制度推進事業
の減額理由について
(中村委員)

- 地域おこし協力隊推進事業
の減額理由について
(小椋委員)

- ふるさと交流館の指定管理
委託料増額の積算根拠など
について (小椋委員、木嶋
委員、田村委員、大内委員、
中村委員)

4日目 12月17日

- 本会議を休会し、各常任委
員会を開催しました。

5日目 12月18日

- 常任委員会、特別委員会に
付託した議案の審査結果報告
の後、町長提議案および同
意案件の討論・採決が行われ
ました。次の議員、委員会提

出案件を含む全ての案件が全
会一致で可決しました。

- 新型コロナウイルス感染症
対策に係る財政措置の充実
を求める意見書提出
(総務文教常任委員会)

- 『さけ定置漁業』の凶漁対
策に係る資源増殖事業の緊
急支援を求める意見書
(松原委員)

- 報道機関への対応について
慎重な判断と緊密な協議を
求める決議 (戸田委員)

第5回臨時会の概要

10月22日に開催され、水産
業に関わる感染症対策の補正
予算、生涯学習センターの建
設工事の設計変更などに関わ
る議案が審議されました。

第6回臨時会の概要

11月27日に開催され、人事
院勧告に伴う職員給与などの
減額に関わる条例改正などが
審議されました。

議会のうごき 9月定例会終了後から12月定例会まで

1 議長、副議長、各議員（委員）の動向について

期 日	内 容	備 考
9月27日	河野大臣北方領土視察対応 (中標津町)	議長
10月20日～21日	全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会 (帯広市)	議長
10月22日	豊富町議会行政視察受入 (別海町)	議長
11月6日	菊と緑の会inべつかい 歓迎式 (別海町)	正副議長
11月10日	全国市議会議長会基地協議会理事会 (東京都)	議長
11月28日	別海町表彰式 (別海町)	正副議長ほか議員13名
11月30日～12月2日	北方領土返還要求政府要請 (東京都)	議長
12月4日	文化・スポーツ功労者表彰式 (別海町)	正副議長ほか議員3名
12月4日	優良勤労者表彰式 (別海町)	議長
12月4日	釧路地方議員協議会厚岸支部行政視察受入 (別海町)	副議長

※備考の欄には、公務として出席している議員を記載しており、公務外で地域行事などに参加している議員については記載していません。

2 一部事務組合・広域連合議会について

期 日	内 容	備 考
12月8日	根室北部消防事務組合議会定例会 (中標津町) 中標津町外2町葬斎組合議会定例会 (中標津町) 根室北部廃棄物処理広域連合議会定例会 (中標津町)	正副議長・田村・宮越議員 正副議長・中村・瀧川議員 正副議長・木嶋・小椋議員

3 各種会議の開催日及び調査などの内容について

全員協議会 10/6・28 11/9 12/1・11・15・17 計7回開催



- 行政との協議・調整
- 一般質問の検討
- 議会活性化に係る議員間討議

西原議長・戸田副議長ほか全議員で構成

議会運営委員会 10/22 11/2・27 12/2・9・15・18 計7回開催



- 本会議の運営
- 議会運営の感染症対策
- 議会活性化
- 議会関係規則の制定など

5委員で構成

総務文教常任委員会 10/13 11/10・16 12/17 計4回開催



- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 千島海溝周辺海溝型地震対策について
- 地域おこし協力隊の活動内容及び事業効果について
- 企業振興促進条例について
- 小中一貫教育等について
- 北海道別海高等学校教育支援事業について（通学バス助成事業）
- まちなかの3館連携拠点と高校生が集う学習環境づくりについて

福祉医療常任委員会 10/30 12/17 計2回開催



- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 別海町第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画、別海町高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画の策定について
- 地域医療体制の充実及び健全な病院経営の推進について
- MR Iの導入について

産業建設常任委員会 10/2 11/30 12/17 計3回開催



- 新型コロナウイルス感染症の影響に対する経済政策について
- ふるさと交流館の状況について
- 森林環境譲与税を活用した民有林等の整備について
- 水産業振興策について
- 橋梁長寿命化修繕計画及び町道舗装化・修繕状況について

広報・広聴常任委員会 10/2・19 11/26 12/18 計4回開催



- 議会だよりの編集・発行
- 広聴についての調査・研究

7委員で構成

議会基本条例調査特別委員会 9/30 10/14・28 11/9・20 12/2 計5回開催



- 議会基本条例の成文化作業ほか

9委員で構成

予算決算審査特別委員会 10/2・5・6・28 12/16 計5回開催



- 前年度決算及び当年度補正予算審査ほか

全議員で構成

シリーズ
**町民に
聞きました**
〈番外編〉

求められる新しい議会様式

これからの時代の議会に求められる新しいあり方について、議会サポーターの土山先生にオンラインインタビューでお話を伺いました。(写真左はビデオ会議の様子)



別海町議会サポーター 土山 希美枝 さん
龍谷大学政策学部教授。政治学を専門分野とし著書多数。令和元年から別海町議会サポーター。

広報委員 この1年あまり、先生の研修を経て議員間での討議のあり方も変化してきたと感じています。先生はどう考えていますか。

土山先生 一般質問をテーマに議論の方法などを研修しています。一般質問はその時々、町に必要な議題の宝庫です。適切な内容を適切なタイミングで議論することが「盛り上がり」に繋がると 생각합니다。

一般質問の前にその内容について皆で議論する別海町議会の新たな取り組みは、自分の気付いてない視点を知り、自分の考え方を見つめ直す機会として非常に有効だと考えています。

広報委員 以前は個人色の強かった一般質問ですが、現在は全体での議論を経て質問を行っているためか、答弁を共有し、各常任委員会での調査に活かすなどの取り組みに繋がっています。

土山先生 議員間討議が日常的に行える体制はとても大切で価値あるものです。議員が共有しているものを、議会として町民どのように議論していくのか、そこを次の目標としていくのがよいのかもしれない。

広報委員 コロナ禍で、対面での議論など多くの制約が生まれています。議会として変わるべきことはあるでしょうか。

土山先生 現在も含め、今後は対面で集まり議論することが出来なくなる状況も前提にする必要があります。

ビデオ会議などもありますが、万能ではなく対面と同じことは出来ません。だからと言って足を止めてはゼロです。

完全ではなかったとしても出来ることから取り組み、オンラインの特徴を活かして情報発信や共有などに力を入れるなど、新たな価値を付加していくことも必要なのではないでしょうか。

令和3年3月定例会の予定

- 3月4日(木) 10時～
1日目 行政報告、執行方針説明、補正予算審議
- 3月5日(金) 10時～
2日目 町長提出議案の内容説明・質疑
- 3月8日(月) 10時～
5日目 一般質問
- 3月9日(火) 10時～
6日目 一般質問
本会議休会後 各常任委員会
- 3月10日(水) 10時～
7日目 休会・当初予算審査(一般会計)
- 3月11日(木) 10時～
8日目 休会・当初予算審査(特別会計・企業会計)
- 3月12日(金) 10時～
9日目 議案の討論・採決ほか

3月												
	1	2	3	4	5	6						
7	8	9	10	11	12	13						
14	15	16	17	18	19	20						
21	22	23	24	25	26	27						
28	29	30	31									

※議事の内容は、変更することがありますので、議会ホームページをご確認されるか、議会事務局までお問い合わせください。

地域めぐり懇談会中止のお知らせ

毎年、各地区に赴き、町民のみなさんのご意見を伺っておりましたが、コロナ禍の状況が収束しませんので、今年度の開催を見合わせることにいたしました。

別海町議会モニター募集のお知らせ

議会の傍聴、議会広報や議会活性化の取り組みなどに対し、意見を述べる議会モニターを募集しております。応募される方、興味のある方は、議会事務局までご連絡ください。

☎ 0153-75-2111 (内線4111)



「密閉空間」「密集場所」「密接場面」3つの**密**を避けましょう！